

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	小井手ファッションビューティ専門学校
設置者名	学校法人小井手学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
家政専門課程	ファッション・メイク科 服飾テクニカルコース	夜・通信	315 時間	160 時間	
	ファッション・メイク科 ショップビジネスコース	夜・通信	173 時間	160 時間	
	ファッション・メイク科 雑貨・アクセサリーコース	夜・通信	198 時間	160 時間	
	ファッション・メイク科 メイク・ネイル・スタイリストコース	夜・通信	210 時間	160 時間	
	ファッション・メイク科 エステ・メイク・ネイルコース	夜・通信	315 時間	160 時間	
	ファッション・メイク科 ブライダルコース	夜・通信	233 時間	160 時間	
	ファッションデザイン科 衣装製作コース	夜・通信	315 時間	240 時間	
	ファッションデザイン科 アパレルコース	夜・通信	245 時間	240 時間	
	ファッションデザイン科 ショップ経営コース	夜・通信	281 時間	240 時間	

ファッションデザイン科 雑貨・デザイン・企画コース	夜・通信	396 時間	240 時間	
ファッションデザイン科 メイク・ネイル・スタイリスト・プロ育成コース	夜・通信	306 時間	240 時間	
ファッションデザイン科 エステ・メイク・ネイル・ インターナショナルコース	夜・通信	315 時間	240 時間	
ファッションデザイン科 ブライダルプロ育成コース	夜・通信	265 時間	240 時間	
プロフェッショナル科 トータルファッションコース	夜・通信	378 時間	320 時間	
プロフェッショナル科 トータルビューティコース	夜・通信	490 時間	320 時間	
(備考)				

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務所に「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」を常備し、希望者への閲覧に供する。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	小井手ファッションビューティ専門学校
設置者名	学校法人小井手学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務所に「理事名簿」を常備し、希望者への閲覧に供する。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	令和2年12月17日～令和6年12月16日	社会的コンプライアンス等の見地から本校教育への助言を行なう
非常勤	税理士	令和2年12月17日～令和6年12月16日	財務的な見地から本学園運営への助言を行なう
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	小井手ファッションビューティ専門学校
設置者名	学校法人小井手学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>年度末に、各コースのディレクターが集まって業界が求める人材や検定等についての会議を行ない、次年度の授業の基本計画を作成する。その基本計画に基づいて、年度当初に各科目の授業担当者が授業内容や到達目標・成績評価等について記載したシラバスを共通のフォーマットで作成し、学生に配布するとともに広く一般に公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	事務所に「シラバスのファイル」を常備し、希望者への閲覧に供する。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>出席率・提出物等で日頃の評価を行なうとともに、前期末・後期末の定期試験の成績(試験を行なわない科目については、作品の出来栄)と合わせて、総合的に判定する。</p> <p>出席率、提出物等、定期試験の成績(または作品の出来栄)の合計を100点満点で計算し、次の基準に基づいて5段階で評価を行なう。</p> <p>5 = (90~100点)、4 = (80~89点)、3 = (60~79点)、 2 = (40~59点)、1 = (0~39点)</p> <p>5段階評価の5~2を合格とし、1は不合格とする。不合格となった科目は、後日、追試・補講・課題提出等を行なうことで合格とすることができる。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各個人の成績の平均点を次の計算方法で算出する。</p> <p>全科目の5段階評価の合計 ÷ 科目数 = 各個人の成績の平均点</p> <p>前期・後期ごとに、各個人の成績の平均点を、あらかじめ設定した算出方法により算出し、成績の高い者から順にならべた一覧表を、学科・学年ごとに作成する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	この「申請書」をホームページで公表するとともに、事務所にこの「申請書」の写しと「成績評価の指標」および「学則」を常備し、希望者への閲覧に供する。
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>必要な修業年限（ファッション・メイク科は2年、ファッションデザイン科は3年、プロフェッショナル科は4年）以上在学し、必要な総授業時数（ファッション・メイク科は1700時間、ファッションデザイン科は2400時間、プロフェッショナル科は3400時間）を履修した者で、以下のような能力・資質を身に付け、卒業試験に合格した者に対し、卒業証書ならびに「専門士」（プロフェッショナル科は「高度専門士」）の称号を授与する。</p> <p>○卒業までに身に付けるべき能力・資質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世の中に新しい物を提案できる発想力 ・発想を形にできる専門的な技術力 ・世の中に提案・発信するための行動力やコミュニケーション能力 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	この「申請書」をホームページで公表するとともに、事務所にこの「申請書」の写しと「卒業認定に関する方針」および「学則」を常備し、希望者への閲覧に供する。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	小井手ファッションビューティ専門学校
設置者名	学校法人小井手学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.koide.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	http://www.koide.ac.jp
財産目録	http://www.koide.ac.jp
事業報告書	事務所に「事業報告書」を常備し、希望者への閲覧に供する。
監事による監査報告（書）	事務所に「監査報告書」を常備し、希望者への閲覧に供する。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門課程	ファッション・メイク科 服飾テクニカルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700 単位時間/単位	38単位 時間/単位	456単 位時間/ 単位	1634 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2128単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人以内		9人	0人	6人	4人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>年度末に、各コースのディレクターが集まって業界が求める人材や検定等についての会議を行ない、次年度の授業の基本計画を作成する。その基本計画に基づいて、年度当初に各科目の授業担当者が授業内容や到達目標・成績評価等について記載したシラバスを共通のフォーマットで作成し、学生に配布するとともに広く一般に公表する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>出席率・提出物等で日頃の評価を行なうとともに、前期末・後期末の定期試験の成績(試験を行わない科目については、作品の出来栄)と合わせて、総合的に判定する。</p> <p>出席率、提出物等、定期試験の成績(または作品の出来栄)の合計を100点満点で計算し、次の基準に基づいて5段階で評価を行なう。</p> <p>5=(90~100点)、4=(80~89点)、3=(60~79点)、2=(40~59点)、1=(0~39点)</p> <p>5段階評価の5~2を合格とし、1は不合格とする。不合格となった科目は、後日、追試・補講・課題提出等を行なうことで合格とすることができる。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>必要な修業年限(ファッション・メイク科は2年、ファッションデザイン科は3年、プロフェッショナル科は4年)以上在学し、必要な総授業時数(ファッション・メイク科は1700時間、ファッションデザイン科は2400時間、プロフェッショナル科は3400時間)を履修した者で、以下のような能力・資質を身に付け、卒業試験に合格した者に対し、卒業証書ならびに「専門士」(プロフェッショナル科は「高度専門士」)の称号を授与する。</p> <p>○卒業までに身に付けるべき能力・資質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世の中に新しい物を提案できる発想力 ・発想を形にできる専門的な技術力 ・世の中に提案・発信するための行動力やコミュニケーション能力概要)

学修支援等 (概要) 担任が本人・保護者と密に連絡を取り、必要に応じてカウンセリングを行なう。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100.0%)	0人 (0.0%)	1人 (20.0%)	4人 (80.0%)
(主な就職、業界等) オートクチュール、アパレル等の業界			
(就職指導内容) 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
(主な学修成果(資格・検定等)) ファッションビジネス能力検定、洋裁技術検定、パターンメイキング検定等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	1人	16.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門課程	ファッション・メイク科 ショップビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1700 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年			190単 位時間/ 単位	1292 単位時間 /単位	608単 位時間/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		2090単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人の内数		29人	0人	5人	10人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照	
学修支援等	
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (0.0%)	12人 (63.2%)	7人 (36.8%)
（主な就職、業界等） アパレル系ショップ等			
（就職指導内容） 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション販売能力検定、色彩検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	2人	8.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門課程	ファッション・メイク科 雑貨・アクセサリーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1700 単位時間/単位	76単位 時間/単位	722単 位時間/ 単位	1352 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2150単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人の内数		9人	0人	7人	6人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
成績評価の基準・方法
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
卒業・進級の認定基準
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
学修支援等
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100.0%)	0人 (0.0%)	2人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 雑貨製作企業、雑貨系ショップ等			
（就職指導内容） 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション販売能力検定、パーソナルカラー検定、銀粘土技能認定士等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門課程	ファッション・メイク科 メイク・ネイル・スタイ リストコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700 単位時間/単位	190単 位時間/ 単位	684単 位時間/ 単位	1216 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2090単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人の内数		20人	1人	7人	12人	19人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
成績評価の基準・方法

(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
卒業・進級の認定基準
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
学修支援等
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100.0%)	0人 (0.0%)	8人 (61.5%)	5人 (38.5%)
(主な就職、業界等) 美容業界、ネイリスト等			
(就職指導内容) 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッションビジネス能力検定、色彩検定、ネイリスト技能検定等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	3人	13.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門課程	ファッション・メイク科 エステ・メイク・ネイル コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1700 単位時間/単位	475単 位時間/ 単位	475単 位時間/ 単位	1111 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2061 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人の内数		43人	0人	4人	6人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照	
学修支援等	
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100.0%)	0人 (0.0%)	12人 (92.3%)	1人 (7.7%)
（主な就職、業界等） エステ業界、ネイリスト等			
（就職指導内容） 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
（主な学修成果（資格・検定等）） 認定エステティシャン、CIDESCO 国際ライセンス、ネイリスト技能検定等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	3人	8.3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門課程	ファッション・メイク科 ブライダルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1700 単位時間/単位	147 単位時間/ 単位	546 単位時間/ 単位	1359 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2052単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人の内数		10人	0人	4人	8人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
成績評価の基準・方法
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
卒業・進級の認定基準
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
学修支援等
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100.0%)	0人 (0.0%)	8人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） ブライダル業界等			
（就職指導内容） 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
（主な学修成果（資格・検定等）） ブライダルプランナー、サービス接客検定、フラワー技能検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門課程	ファッションデザイン科 衣装製作コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2400 単位時間/単位	38単位 時間/単位	576単位 時間/単位	2584 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3198単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人の内数		20人	0人	4人	6人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

成績評価の基準・方法 (概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
卒業・進級の認定基準 (概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
学修支援等 (概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100.0%)	0人 (0.0%)	4人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) オートクチュール、アパレル等の業界			
(就職指導内容) 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
(主な学修成果(資格・検定等)) ファッションビジネス能力検定、洋裁技術検定、パターンメイキング検定等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	1人	5.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門課程	ファッションデザイン科 アパレルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2400 単位時間/単位	152単 位時間/ 単位	836単 位時間/ 単位	1862 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2850単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人の内数		49人	0人	8人	8人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
成績評価の基準・方法
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
卒業・進級の認定基準
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
学修支援等
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0.0%)	7人 (87.5%)	1人 (12.5%)
(主な就職、業界等) アパレル業界等			
(就職指導内容) 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
(主な学修成果(資格・検定等)) 洋裁技術検定、パターンメイキング検定、色彩検定等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	2人	4.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	家政専門課程	ファッションデザイン科 ショップ経営コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 2400 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間		266単位時間/ 単位	1691単位時間/ 単位	912単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			2869単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
150人の内数	8人	0人	5人	10人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
成績評価の基準・方法
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
卒業・進級の認定基準
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
学修支援等
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100.0%)	0人 (0.0%)	2人 (66.7%)	1人 (33.3%)

(主な就職、業界等) アパレル系ショップ等
(就職指導内容) 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう
(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション販売能力検定、色彩検定等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門課程	ファッションデザイン科 雑貨・デザイン・企画コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2400 単位時間/単位	76単位 時間/単位	942単 位時間/ 単位	2237 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3255単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人の内数		3人	0人	7人	6人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
成績評価の基準・方法
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
卒業・進級の認定基準
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

学修支援等 (概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
--

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100.0%)	0人 (0.0%)	1人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 雑貨製作企業、雑貨系ショップ等			
(就職指導内容) 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション販売能力検定、パーソナルカラー検定、銀粘土技能認定士等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	家政専門課程	ファッションデザイン科 メイク・ネイル・スタイ リスト・プロ育成コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2400 単位時間/単位	230単 位時間/ 単位	874単 位時間/ 単位	2052 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3156単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
150人の内数	15人	0人	7人	12人	19人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
成績評価の基準・方法
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
卒業・進級の認定基準
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
学修支援等
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100.0%)	0人 (0.0%)	2人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 美容業界、ネイリスト等			
（就職指導内容） 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定、色彩検定、ネイリスト技能検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	3人	21.4%
（中途退学の主な理由） 経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	家政専門課程	ファッションデザイン科 エステ・メイク・ネイル・インターナショナル コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2400 単位時間/単位	551単 位時間/ 単位	703単 位時間/ 単位	1963 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3217単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
150人の内数	2人	0人	4人	6人	10人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
成績評価の基準・方法 （概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
卒業・進級の認定基準 （概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
学修支援等 （概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
(主な学修成果(資格・検定等)) 認定エステティシャン、CIDESCO 国際ライセンス、ネイリスト技能検定等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門課程	ファッションデザイン科 ブライダルプロ育成コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2400 単位時間/単位	114 単位時間/ 単位	959 単位時間/ 単位	1929 単位時間/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3002単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人の内数		9人	0人	4人	8人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
成績評価の基準・方法 (概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
卒業・進級の認定基準 (概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
学修支援等 (概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
	6人 (100.0%)	0人 (0.0%)	6人 (100.0%)
(主な就職、業界等) ブライダル業界等			
(就職指導内容) 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
(主な学修成果(資格・検定等)) ブライダルプランナー、サービス接客検定、フラワー技能検定等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門課程	プロフェッショナル科 トータルファッションコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3400 単位時間/単位	438 単位時間/ 単位	368 単位時間/ 単位	3204 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			4010単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人の内数		72人	0人	13人	17人	30人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
成績評価の基準・方法

(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
卒業・進級の認定基準
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
学修支援等
(概要) ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100.0%)	0人 (0.0%)	14人 (70.0%)	6人 (30.0%)
(主な就職、業界等) オートクチュール、アパレル等の業界			
(就職指導内容) 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
(主な学修成果(資格・検定等)) ファッションビジネス能力検定、洋裁技術検定、パターンメイキング検定等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	2人	2.9%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門課程	プロフェッショナル科 トータルビューティコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
4年		3400 単位時間/単位	825単 位時間/ 単位	311単 位時間/ 単位	2836 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3972単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人の内数		4人	0人	7人	14人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
成績評価の基準・方法
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
卒業・進級の認定基準
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照
学修支援等
（概要） ファッション・メイク科服飾テクニカルコース参照

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (0.0%)	2人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 美容業界			
（就職指導内容） 校内会社説明会や履歴書指導・面接指導等を行なう			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定、色彩検定、ネイリスト技能検定等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	1人	14.3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席がちな学生への面談、保護者への連絡等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
全科 共通	120,000円	600,000円	150,000円	教育施設費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.koide.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 職業実践教育の充実を図るため、企業等からの委員4名が参画した学校関係者評価委員会を設置して、教育活動や学修成果・教育環境等について評価を行ない、その結果を次年度の教育活動やその他の学校運営の改善にいかす。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
広島市問屋街本通会 (センイシティひろしま) 会長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
株式会社マルエス原田専務取締役	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
広島県美容講師会会員 株式会社ビオレ代表	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
株式会社YOU-2代表	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.koide.ac.jp
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.koide.ac.jp

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	小井手ファッションビューティ専門学校
設置者名	学校法人小井手学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		57人	56人	-
内 訳	第Ⅰ区分	36人	32人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者 (年間)				-
合計 (年間)				60人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令 (令和元年政令第49号) 第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	—	—	—
計	—	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準時間数の6割以下)	—	0人	—
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	—	0人	—
計	—	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること